



NEWS RELEASE

TOTO

2018年6月6日

TOTOギャラリー・間
巡回展・講演会を北九州TOTOミュージアムで開催
トラフ展 インサイド・アウト
TORAFU ARCHITECTS Inside Out

展覧会：2018年8月21日（火）～12月23日（日）

会場：TOTOミュージアム 〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島 2-1-1

休館日＝月曜日

開館時間＝10:00～17:00（入館時間は16:30まで） 入場無料

トラフ講演会：2018年8月20日（月）18:30～20:00（終演予定）

会場＝TOTOミュージアム内

参加方法＝TOTOギャラリー・間ウェブサイトより事前申込制（※応募多数の場合は抽選）

申込期間＝2018年6月8日（金）～7月31日（火）



展覧会について

TOTOギャラリー・間は、北九州市にあるTOTOミュージアムにて巡回展を開催します。今回は2016年に反響の高かった、鈴野浩一氏と禿（かむろ）真哉氏による建築家ユニット、トラフ建築設計事務所の展覧会「トラフ展 インサイド・アウト」です。

トラフ建築設計事務所は、ホテル客室をリノベーションしたプロジェクト「テンプレート イン クラスカ」（2004年）で斬新なアイデアが高い評価を得ました。その後も住宅設計、店舗やショールームの内装から舞台美術、家具や指輪まで、建築の枠を越え、200を超える多様なプロジェクトを手がけています。2010年に発表したトラフのオリジナル作品「空気の器」は、アーティストとのコラボレーション作品も加わり、海外でも高い人気を集めています。モノ、インテリア、建築の境界を外し、フラットな視点でその間を行き来することで、その場所や空間、素材の可能性、魅力を最大限に引き出してきたトラフのアプローチ方法は、時に人の流れや行動、街の様相までも変える力を持ちます。

「インサイド・アウト」と名づけられた本展は、初期作品から近作までさまざまな作品のスタディの過程から完成までを紹介します。また試行錯誤する中で手がかりとなったもの、インスピレーションを受けた素材、創る過程をも楽しむトラフのアタマの中をのぞき、思考の過程を追体験できる内容です。

本展のために制作されたオリジナル映像やミュージアム全体に配したトラフ監修の「空気の器」によりトラフの世界観を体験できるほか、ミュージアムショップでTOTOギャラリー・間オリジナル「空気の器」も発売します。

トラフの思考に触れ、これからの建築や都市の有り様を探っていただくきっかけとして、是非ご覧ください。

TOTOギャラリー・間

展覧会情報

展覧会名（日）	トラフ展 インサイド・アウト
展覧会名（英）	TORAFU ARCHITECTS Inside Out
会期	2018年8月21日（火）～12月23日（日）
開館時間	10:00～17:00（入館時間は16:30まで）
休館日	月曜日
入場料	無料
会場	TOTOミュージアム 〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1 TEL 093-951-2534 https://jp.toto.com/museum
交通案内	【バス】小倉駅バスセンター3番のりばから [21][22][43]系統バスまたは4番のりばから[25]系統バスで約15分「貴船町バス停」下車、 【北九州モノレール】香春口三萩野駅南口下車、国道3号線を到津側に徒歩約10分
主催	TOTOギャラリー・間／TOTOミュージアム
企画	TOTOギャラリー・間運営委員会 特別顧問：安藤忠雄 委員：妹島和世／千葉 学／塚本由晴／エルウィン・ビライ
後援	（一社）日本建築学会九州支部／（公社）日本建築家協会九州支部／ （公社）福岡県建築士会／（一社）福岡県建築士事務所協会
協力	石巻工房／伊千呂／かみの workshop／飛驒産業

展覧会コンセプト文

インサイド・アウト

ホテルの小さな客室の内装を手がけたことからトラフの活動が始まった。私たちの仕事は指輪などのプロダクトからインテリア、舞台美術、建築まで幅広い。どんなことであれ、目の前にあることに興味をもって積極的に取り組むことで、さまざまな領域を横断しながら活動してきた。

建築は、敷地とその環境など、与えられた条件を受けて初めて計画することができる。一方でプロダクトは、どこで誰に使われるのかも分からないことが多く、建築を学んできた私たちには戸惑いがあった。そこで、例えば小さなプロダクトであっても“敷地”を自ら設定することで、建築が周辺環境と密接に関係するように、そのスケールにとどまらない広がりを与えうることが分かってきた。私たちも参加している石巻工房のプロジェクトは、地域との小さな接点をつくるような家具のデザインを通じて、地元の雇用を生み、今では石巻における産業として定着しつつある。この試みを、家具から都市へと広がる提案のひとつの実践の場と捉え、継続して取り組んでいる。

「インサイド・アウト (Inside Out=裏返し)」というタイトルは、本展でトラフの頭の中をさらけ出すこと、そして、トラフがこれまで「都市>建築>インテリア>家具>モノ」といったヒエラルキーにとらわれないアプローチをしてきたことを表象している。

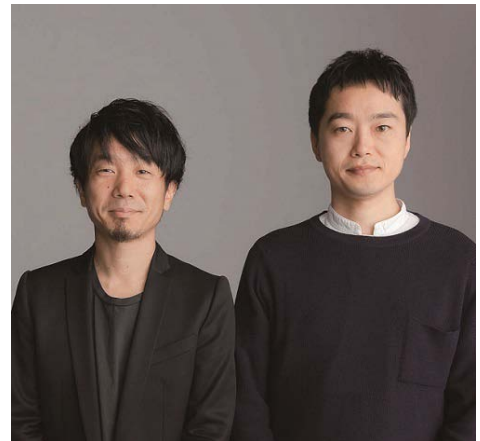
これまで手掛けてきた作品から、現在進行中のプロジェクトまで、その過程で生み出された思考の断片をフラットに並べて、風景のようなものをつくり出す。トラフのクリエイションの現場に入り込むライブ感を体験してもらいたい。

鈴野浩一、禿 真哉

建築家プロフィール

トラフ建築設計事務所

鈴野浩一(すずの こういち)と禿真哉(かむろ しんや)により2004年に設立。建築の設計をはじめ、インテリア、展覧会の会場構成、プロダクトデザイン、空間インスタレーションやムービー制作への参加など多岐に渡り、建築的な思考をベースに取り組んでいる。主な作品に「テンプレート イン クラスカ」「NIKE 1LOVE」「港北の住宅」「空気の器」「ガリバーテーブル」「Big T」など。「光の織機(Canon Milano Salone 2011)」は、会期中の最も優れた展示としてエリートデザインアワード最優秀賞に選ばれた。2015年「空気の器」が、モントリオール美術館において、永久コレクションに認定。2011年「空気の器の本」、作品集『TORAFU ARCHITECTS 2004-2011 トラフ建築設計事務所のアイデアとプロセス』(ともに美術出版社)、2012年絵本『トラフの小さな都市計画』(平凡社)、2016年『トラフ建築設計事務所 インサイド・アウト』(TOTO出版)を刊行。



©Kenshu Shintsubo

関連プログラム

トラフ講演会 「インサイド・アウト」

日時：2018年8月20日（月） 18:00 開場、18:30 開演、20:00 終演（予定）

会場：TOTOミュージアム内

定員：400名／参加無料

参加方法：TOTOギャラリー・間ウェブサイト (<https://jp.toto.com/galleryma>) より
お申込みください。

申込期間 2018年6月8日（金）～7月31日（火）

応募者多数の場合、抽選の上、8月7日（火）までに結果をご連絡いたします。

関連書籍

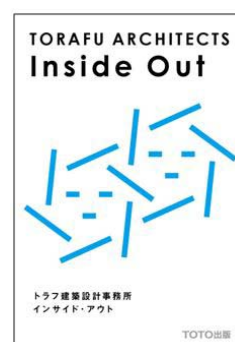
■関連書籍 『トラフ建築設計事務所 インサイド・アウト』

発行日：2016年10月15日

発行：TOTO出版（TOTO株式会社）

お問い合わせ：TEL：03-3402-7138

<https://jp.toto.com/publishing>



TOTOの建築文化活動

TOTOは、建築の専門ギャラリー「TOTOギャラリー・間（ま）」と建築系書籍の出版をおこなう「TOTO出版」を運営しています。

これらは、建築文化の醸成・育成を通して社会に貢献することを目的として創設され、30余年にわたり活動しています。

「TOTOギャラリー・間」と「TOTO出版」の活動目的は、建築家がつもつ多様な価値観を空間で表現する「展覧会」、自身の言葉で伝える「講演会」、そしてかれらの理論と思想を伝える「出版」によって、建築家のメッセージとして発信することです。



TOTOミュージアム

TOTOは、社会とともに発展をしていくためには、創業の精神や歴史を正しく理解し、受け継いでいくことが大切と考え、100周年記念事業として、2017年に創業の地である北九州小倉に「TOTOミュージアム」を設立しました。

TOTOの創立時から今に至るまでの日本の水まわりの文化や歴史とともに、TOTOのものづくりへの想い、製品の進化など貴重な資料とともに紹介しています。





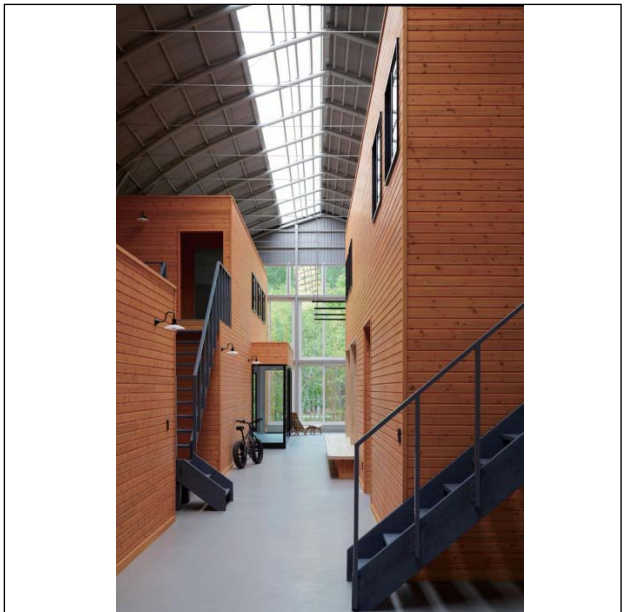
[1] 港北の住宅 (2008年)
©阿野太一



[2] 空気の器 (2010年)
©富田里美



[3] 光の織機 (Canon Milano Salone) (2011年)
©大木大輔



[4] big T (2016年)
©阿野太一